

日本人の食事摂取基準(2020年版)の策定に資する代謝性疾患の栄養評価並びに各栄養素等の最新知見の評価に関する研究

はじめに

研究代表者 佐々木敏

東京大学大学院医学系研究科 社会予防疫学分野

本年度は、日本人の食事摂取基準(2020年版)(以下、食事摂取基準と呼ぶ)を策定にするに当たって、食事摂取基準の策定に直接に資する系統的レビューならびにメタ・アナリシスの論文をハンドサーチで検索、収集、解読し、食事摂取基準にて直接引用する論文を決定した。食事摂取基準の活用の利便性を考え、これら論文の要約を和訳し、まとめた。また、将来の食事摂取基準策定の参考資料とすることを目的として、人間栄養学研究における系統的レビューならびにメタ・アナリシスの論文の推移・動向をまとめた。

これらより、食事摂取基準の策定の根幹である人間栄養学の論文を扱った系統的レビューならびにメタ・アナリシスの数と質は最近(特にこの10年間以内)に飛躍的に増加・向上し、食事摂取基準の策定において、これらのより積極的な利用可能性が示されたとともに、これらを正しく解釈し、活用できる人材(専門家)の育成が急務であることも明らかとなった。

この結果は、日本人の食事摂取基準(2020年版)策定の作業において貴重な基礎資料として活用されることが期待される。

【研究組織】

＜研究代表者＞

佐々木 敏 東京大学・大学院医学系研究科・教授

＜研究分担者＞

勝川 史憲 慶應義塾大学・スポーツ医学研究センター・教授

柴田 克己 甲南女子大学・看護リハビリテーション学部・教授

田中 清 京都女子大学・家政学部・教授

上西 一弘 女子栄養大学・栄養学部・教授

吉田 宗弘 関西大学・化学生命工学部・教授

朝倉 敬子 東邦大学・医学部・准教授

宇都宮 一典 東京慈恵会医科大学・医学部・教授

多田 紀夫 東京慈恵会医科大学・医学部・教授

村上 健太郎 東京大学・大学院情報学環・助教